

## 和歌山県教育委員会臨時会会議録

- 日 時 平成28年6月30日（木）16：30～
- 場 所 教育委員会室
- 出席者 宮 下 教育長  
竹 山 委 員  
佐 藤 委 員  
野 田 委 員  
野 村 委 員  
桑 原 委 員  
牧 野 教育企画監  
岡 崎 教育総務局長  
楠 生涯学習局長  
木 皮 学校教育局長  
鳥 湊 総務課長  
岡 本 給与福利課長  
西 山 生涯学習課長  
前 田 生涯学習課人権教育推進室長  
志 場 スポーツ課長  
水 上 文化遺産課長  
小 滝 県立学校教育課長  
前 田 県立学校教育課特別支援教育室長  
南 義務教育課長  
笹 井 学校人事課長  
橘 健康体育課長  
木地尾 総務課副課長  
藤 田 総務課秘書班長  
名 倉 総務課主事

## 1 開 会

○教育長 ただ今から、教育委員会 6 月臨時会を開会する。

## 2 付議事項

### 議案第 29 号

串本古座高等学校における再編整備について

○教育長 議案第 29 号「串本古座高等学校における再編整備」について説明願いたい。

○総務課長 本件については、平成 28 年 5 月 24 日から 6 月 14 日の期間に県民意見募集を実施した。その結果、郵送 29 件、電子メール 35 件、FAX 22 件の合計 86 件の意見があった。

その内容として、1 つ目は、再編整備全般についてである。

主に、再編整備を進めてほしいという意見と、再編整備は拙速であるという意見があったが、県教育委員会の考え方としては、「平成 20 年に串本高校と古座高校を統合した際に、分校舎として 2 学級規模を維持できないと判断した場合は募集を停止するとの方針を示しており、本来であれば平成 25 年度に古座校舎が 1 学年 1 学級となった段階で募集停止の判断もあった訳だが、何とか存続させてきたところであり、串本校舎も 2 学級となった現在の状況や、将来の生徒数の減少も鑑みると、子供たちのためにも 1 つの校舎に統合し、より魅力のある環境をつくるのが最善」ということと、「今後、東牟婁地域の生徒数が大幅に減少していく中で、早急に手立てを講じなければ、串本古座高等学校そのものの存続が危ぶまれる状況」であることから、速やかに再編整備を進めることが適切であると考えている。

2 つ目は、学校の魅力化・特色化について、新たなコースやその教育内容について様々な意見があった。学校と地域の活性化につながるよう、グローバルコース、全国募集、地域協議会等、今後、具体的な内容について学校と協議を重ね、進めたい。

3 つ目は、通学方法や防災面についての意見があった。

通学方法については、古座川上流の地域に住む生徒が公共交通機関で通えるよう、串本町や古座川町に直接申し入れをしている。

串本校舎の防災面については、避難場所となる校舎の裏手にある元雇用促進住宅の敷地に直接つながる避難路を設置する等、今後、避難しやすい環境を整える。

4つ目は、在校生への対応についての意見もあった。

再編整備に伴い、在校生が不安にならないように、これまでも在校生や保護者への説明会を開催しているが、今後も、保護者会や学校での生徒面談の機会を充実する等、丁寧な対応をしていく。

以上のようなことから、付議している「串本古座高等学校における再編整備」について、原案のとおり進めたいと考えているため、審議をお願いしたい。

○桑原委員 ひとつの学校がなくなるという不安が必ずあるので、しっかり意見を聞いて、対応していただきたい。

○教育長 しっかり対応していただきたい。

○総務課長 そのようにする。

○教育長 昨年度の高等学校再編整備基本方針も含めて、振り返れば平成20年から地道に議論を続けてきた。また、教育委員協議会の場においても、たびたび教育委員から意見を伺いながら、これまで進めてきた。こうして、今回の最終の県民意見募集ということで、数々の議論の積み重ねとして、本日提案されている形となった。

○教育長 それではよろしいか。

(異議なしの声)

○教育長 議案第29号については、原案のとおり決定する。

## 6 閉 会

○教育長 これで、予定されていた議事が全て終了したので、6月臨時会を閉会する。

(16:45閉会)